(別紙)

成果の説明書

(氏名)　宮田　庸一	(学部)　経済学部

1　重要事項：以下の研究成果の作成、報告を行った.

研究紀要

[1] 宮田　庸一. (2012). GARCH モデルにおける強定常性, エルゴード性について, **55 巻, 第 2 号, 高崎経済大学論集**.

[2] 宮田　庸一. (2013). 近似ファクターモデル—共通ファクターおよびファクター数の推定に関するサーベイ, **55 巻, 第 4 号, 高崎経済大学論集**.

研究報告

[3] 宮田　庸一. (2012 年 12 月). 統計的モデル選択に関する理論と応用 ～ブートストラップ情報量規準の教育データへの応用～, 早稲田大学数学教育学会第 31 回大会, 早稲田大学 14 号館 717 教室.

[4] 宮田　庸一. (2012 年 9 月). 周辺尤度に対するルート n 一致推定量を用いたラプラス近似について, 統計関連学会連合大会 (北海道大学)

[5] 宮田　庸一. (2012 年 6 月). $\sqrt{n}$一致推定量を用いたベイズ型情報量基準の漸近誤差について, Seminar on Time Series and Financial Engineering, 早稲田大学 1 号館 401 号室(早稲田キャンパス)

2　その他の事項

(1) 欧文誌投稿論文 1 本, 和文誌投稿論文 1 本の査読を行った.

(2) オフィスアワーを自主的に設置し、学生から寄せられる数学、統計学、プログラム言語 R に関する質問に対応した.